



ART MANAGEMENT ACADEMY 2024

国際芸術祭「あいち」人材育成プログラム アートマネジメントアカデミー2024 募集要項

1) 概要

アートラボあいちでは、2018年よりこの地域の文化芸術の育成と促進を目的に、様々な形で人材育成プログラムを実施してきました。2023年度より引き続き、プログラムディレクターに野田智子氏を迎え、国内外の芸術祭やアートプロジェクトなど、アートの実践現場で活躍できる人材の育成を目指します。

今回のプログラムでは、芸術祭やアートプロジェクトの企画・運営を担う専門家をゲストに招き、専門的な知見に基づく講義やこれまでの事例の紹介をする【レクチャー】と、ゲストやレクチャー内容について自由に意見交換ができる時間や、芸術祭についての理解を深めたり、運営側の視点で考えたりする【HR（ホームルーム）】で構成します。また、プログラムでの学びを活かす場として、参加者が主体的にアートプロジェクトを企画・制作・運営などに挑戦する実践プログラムも設けます。

2) プログラムの仕組み

【オリエンテーション】

プログラムの説明と参加者による自己紹介を行います。

【レクチャー】

芸術祭やアートプロジェクトの企画・運営を担う専門家をゲストに招き、各分野の専門的な知識やこれまでの事例の紹介をします。レクチャー終了後には、参加者同士で自由に意見交換ができる時間を設けます。

[HR（ホームルーム）]

芸術祭について学び、運営側の視点に関する理解を深めるため、勉強会やワークショップなどを実施します。

[実践プログラム]

参加者によるアートプロジェクト実践の場です。有志によって構成し、メンバー自ら企画したプログラムを運営します。

[アーカイブ]

各回の活動内容をアートラボあいちのWEBサイト等で報告します。

3) 実施場所

アートラボあいち（名古屋市中区丸の内 3-4-13 愛知県庁大津橋分室 2 階）

4) 参加費

無料（交通費や昼食代等は各自負担となります）

5) スケジュール

活動時間 | 10 時 30 分～17 時 00 分（昼休憩有り）

2024 年 10 月 6 日（日）	HR [オリエンテーション、参加者交流会] レクチャー【公共性から文化芸術を考える】 戸館正史（文化政策、アートマネジメント） アートと社会のつなぎ手に必要な眼差しとは何か。目の前の「わたし」や「あなた」を捉え直すことで見えてくる、アートマネジメントの社会的な位置づけについて考えます。
10 月 19 日（土）	HR [国内で開催している主要な芸術祭についての勉強会_01] レクチャー【まだ見ぬ風景をともにつくる】 堀切春水（NPO 法人 BEPPU PROJECT プロジェクトマネージャー） 世界有数の温泉地として知られる大分県別府市で、アートを活用した地域づくりに取り組む「BEPPU PROJECT」。革新的なプロジェクトを事例にアーティストと協働する仕事に迫ります。
11 月 9 日（土）	HR [国内で開催している主要な芸術祭についての勉強会_02、企画立案と実施のはなし] レクチャー【キュレーターの仕事】 ゲスト 塩津青夏（愛知県美術館学芸員） 美術館や芸術祭の中で展示会がどのようにつくられているのか、過去に開催された事例を辿りながら、キュレーションの技術とキュレーターの職能について紐解きます。
12 月 1 日（日）	HR [アートプロジェクト現場視察 アートサイト名古屋城 2024] ※アートラボあいちより徒歩移動。本プログラムディレクターである野田智子がプロデューサーを務めるアートプロジェクト。 レクチャー&ワークショップ【もやもやを相談し合う場をひらく】 ゲスト 内山幸子（ひと息しごと/アートマネージャー） 文化芸術の現場では、プロジェクトごとに様々な人たちとチームを組んだり、協働したりする機会があります。そのような現場での水平な関係づくりや、アートに従事する人たちの互助や共助の仕組みを「相談」という切り口から考えます。

12月21日(土)	ワークショップ【鑑賞ディスカッション】 ゲスト 村上慧 (アーティスト) 「作品は解釈を待っている」と考える村上により発案された、みんなで展覧会を鑑賞し、鑑賞後に感想を話し合うワークショップに参加します。アーティストの表現活動を受けとめ、その中身について人と話しあうことによって、お互いの考えを深め、展覧会をひとつの経験として持ち帰ることを目指します。
12月22日(日)	ふりかえりプレゼンテーション 参加者各自でこれまでの自身の学びをふりかえり、今回の活動についてのプレゼンテーションを実施します。
2025年1月～2月	実践プログラムの実施

6) 募集人数

15名程度

7) 対象・応募条件

以下の条件を全て満たすこと

- ・ 満18歳以上(2024年4月1日時点)
- ・ アートコーディネーターやアートマネージャー・キュレーターなどアートに関わる仕事を狙っている方
- ・ 大学や専門学校、アートスクール等の教育機関にて美術・芸術分野を専攻または在籍していた・している方
- ・ 全6回の日程への出席の他、実践活動などに積極的に参加が可能な方

8) 申込方法

参加希望者は、件名に「アートマネジメントアカデミー2024 参加申込」と明記し、以下の項目を全て記入の上、メールにて[ala@aichitriennale.jp]までお申し込みください。

- 1) 氏名(ローマ字表記も追記すること)
- 2) 所属
- 3) 参考となる学歴
- 4) 現在の主な活動場所
- 5) 日中連絡のとることができる電話番号
- 6) 関わったことのある国内外の芸術祭やアートプロジェクト(プログラム・肩書き等)
- 7) 応募の動機(400字程度)
- 8) 主催者へ事前に伝えておきたいこと

9) 申込期限

2024年9月1日(日)

10) 選考スケジュール

- 1) 書類選考結果通知 2024年9月5日(木) ※メールにて通知
- 2) オンライン面接 2024年9月14日(土)

※書類選考に合格された方にはオンライン面接を行い、参加者を決定します。

※上記の面接日に不都合がある場合は個別に調整します。

11) 注意事項

本プログラムの記録写真および記録動画を、活動報告や広報の目的で、印刷物やウェブサイトで公開する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

12) 主催

国際芸術祭「あいち」組織委員会

13) 助成

文化庁

14) 企画・運営

プログラムディレクター | 野田智子 (アートマネージャー、Twelve Inc.取締役)

コーディネーター | 近藤令子 (アートラボあいちマネージャー)

15) 問合せ先

アートラボあいち (開館日: 金曜日・土曜日・日曜日・祝日)

住所: 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目 4-13

E-Mail: ala@aichitriennale.jp

URL: <https://aichitriennale.jp/ala/>

プログラムディレクタープロフィール

野田智子 (NODA Tomoko)

アートマネージャー／Twelve Inc.取締役／Nadegata Instant Party

2020年よりアートマネジメントとメディアプロデュースを軸にしたアーツプロダクション「Twelve Inc.」を設立し、生活と地続きでアートの環境創造とアーティストとの協働を行う。アーティストコレクティブ「Nadegata Instant Party」メンバー。これまで現代美術作品の販売、国際美術展の広報等を経験したのち、2013年-2019年アートマネジメントを専門とした個人事務所「一本木プロダクション」主宰。2015年-2017年 Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya] 共同ディレクター。2018年-2019年「あいちトリエンナーレ 2019」ラーニングセクションマネジメント、2021年-2022年国際芸術祭「あいち 2022」ラーニングコーディネーター、2024年-国際芸術祭「あいち 2025」ラーニングチーフコーディネーター。2020年より関西学院大学にて非常勤講師を務める。

ゲストプロフィール

戸舘正史 (TODATE Masafumi)

文化政策、アートマネジメント

専門は文化政策、アートマネジメント、教育普及。公共ホール、美術館、中間支援機関などでの勤務を経て2018年から2023年3月まで愛媛大学社会共創学部寄附講座「松山ブンカ・ラボ」のディレクターを務める。現在、東京都港区立みなと芸術センター参与、港区文化芸術活動サポート事業調査員、都民芸術フェスティバル（音楽部門）外部評価員、四国学院大学非常勤講師。日本文化政策学会会員。共著に『芸術と環境』（論創社、2012）など。

堀切春水 (HORIKIRI Harumi)

NPO 法人 BEPPU PROJECT プロジェクトマネージャー

早稲田大学大学院文学研究科修士課程美術史学専攻修了。「あいちトリエンナーレ 2013」アシスタント・ディレクター (2013)、フリーランスとしてアーティストマネジメントやアートプロジェクトの企画運営 (2014-2019) を経て、2020 年より現職。現職では「下平千夏：「孵化過程」の先へ」(2020)、「廣川玉枝 in BEPPU」(2021)、別府市創造交流発信拠点「TRANSIT」(2022-2023)、「ALTERNATIVE-STATE #5 中崎 透」「清島アパート」(2024) 等を担当。展覧会、芸術祭、ハード・ソフト整備、コーディネート業、作品設置の管理進行など多岐にわたる業務に携わる。

塩津青夏 (SHIOTSU Seika)

愛知県美術館学芸員

愛知県立芸術大学芸術学専攻卒業、名古屋大学大学院文学研究科修了。専門は近現代美術。愛知県美術館での主な担当展覧会に「ピカソ、天才の秘密」展(2016)、APMoA Project, ARCH「西岳拓貴」(2012)、「久保智史」(2014)、「占部史人」(2014)、「松村かおり」(2015) など。あいちトリエンナーレ 2013 アシスタント・キュレーター。2017 年から 2023 年まで愛知県国際芸術祭推進室で「あいちトリエンナーレ 2019」、国際芸術祭「あいち 2022」のプロジェクト・マネージャー。

内山幸子 (UCHIYAMA Sachiko)

ひと息しごと／アートマネージャー

秋吉台国際芸術村勤務、1 年間のメキシコ滞在を経て、2012 年より関西を拠点にフリーランスでアートマネジメントに携わる。近年の活動に、[五領アートプロジェクト](#) (2017-)、京都精華大学アートマネジメント人材育成事業「[芸術実践と人権—マイノリティ、公平性、合意について](#)」(2018-21)、「[あなたの隣を歩く人がいる](#)」(2021-23) の企画・運営など。また、コロナ禍で京都市文化芸術相談窓口[KACCO] (2020-22)、大阪市アーティストサポート窓口[なにそうだん] (2022-24) の相談員を務めたことをきっかけに、2023 年に文化芸術を専門とした相談所「[ひと息しごと](#)」を設立。著書に『水平を共に目指して』山田創平編著『未来のアートと倫理のために』(左右社、2021)。

村上慧 (MURAKAMI Satoshi)

アーティスト

東京都生まれ。長野・千葉・東京を拠点に活動。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。近年は千葉県山武市に購入した土地で、自然現象を利用した冷暖房を開発する《村上勉強堂》計画を進めている。主な展覧会に「村上慧 移住を生活する」(金沢 21 世紀美術館)、「TERRADA ART AWARD 2023 ファイナリスト展」(寺田倉庫)。著書に『家をせおって歩く』(福音館書店)、『家をせおって歩いた』(夕書房) などがある。